



KOBE BUSSAN CO., LTD.



平成 27 年 8 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 神 戸 物 産
 (コード番号：3038 東証第 1 部)
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 沼 田 博 和
 問 合 せ 先 経 営 企 画 部 門 部 門 長 坂 本 匡 浩
 T E L 0 7 9 - 4 9 6 - 6 6 1 0

業績予想の修正に関するお知らせ(補足資料)

当社の主力事業であります業務スーパー事業の既存店売上高や新規出店が好調に推移し、為替予約やデリバティブ関連の評価益等も計上される見込みとなりましたことから、経常利益が当初予想の 55 億円から 72 億円になり、この度 90 億円と 2 度目の上方修正をする運びとなりましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の概要

<通期・連結>

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	225,000	6,100	7,200	4,000	294.26 円
今回修正予想(B)	228,000	6,300	9,000	5,000	369.13 円
増減額(B-A)	3,000	200	1,800	1,000	—
増減率(%)	1.3	3.3	25.0	25.0	—
前期実績(C) (平成 26 年 10 月期)	214,028	5,178	6,424	2,601	185.03 円
前期実績との増減額 (B-C)	13,971	1,121	2,575	2,398	—
前期実績との増減額 (%)	6.5	21.7	40.1	92.2	—

<通期・単体>

(百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	197,000	5,900	3,650	268.52 円
今回修正予想(B)	199,000	8,100	4,500	332.22 円
増減額(B-A)	2,000	2,200	850	—
増減率(%)	1.0	37.3	23.3	—
前期実績(C) (平成 26 年 10 月期)	185,683	5,434	3,445	245.08 円
前期実績との増減額 (B-C)	13,316	2,665	1,054	—
前期実績との増減額 (%)	7.2	49.1	30.6	—

2. 業績予想の上方修正の要因について

売上高につきましては、主力事業であります業務スーパー事業の新規出店が順調に進み、2014年7月末679店舗から25店舗増加いたしました。今後も関東圏への新規出店を中心に進め、2015年10月末で710店舗を達成したいと考えております。

また、既存店売上高につきましても、消費税増税後に講じた施策がお客様ニーズを捉え、消費税の駆け込みの反動があった2015年3月を除き、全ての月で前年を上回る売上高を計上し、上期全体として、既存店で104.2%増、全店で107.0%を達成し、下期に入りましても、既存店で103.7%増、全店で106.7%と引き続き好調に推移しております。

利益面につきましても、円安がさらに進行し、厳しい環境下ではございましたが、当社100%出資の国内自社工場で生産したPB商品の増強や、輸入商品においても、世界50か国からの魅力あるPB商品開発に注力いたしました。

その他では、円安に対応するため取り組んでいる為替予約やデリバティブ関連の評価益が計上される見込みとなったことや、メガソーラー発電を中心とするエコ再生エネルギー事業においても、昨年比で売上高が拡大し、グループ全体の利益拡大につながりました。

以上のことから、通期の連結・単体業績予想につきましては、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益とも過去最高の数値を計上する見込みとなり、2015年6月10日に修正いたしました業績予想を、再度上方修正をいたします。

3. 今後の新たな事業展開について

<エコ再生エネルギー事業・・・神戸物産第二の柱>

① 太陽光発電

太陽光発電につきましては、「5年以内に355MW」を目標として発電事業を進めております。また、発電開始後の運転管理&保守点検につきましても今年の10月末に遠隔監視システム(特許出願中：特願 2015-11144)を構築することを目標として、株式会社日本町おこしエネルギーで運営を進めております。

② バイオマス発電

バイオマス発電につきましては、北海道の道東エリアでの発電許可を取得し、「2017年夏に5MW」を目標として発電事業を進めております。

③ 地熱発電

地熱発電につきましては、大分県及び群馬県で地熱開発機構の調査データを基に掘削許可を取得し、「3年以内に50MW」を目標として発電事業を進めております。

④ 太陽熱発電

太陽熱発電につきましては、トラフ型発電のオイル熱を熔融塩の中で熱交換をしてタワー型発電でタービンを回し発電するという、神戸物産独自技術での発電を、世界一のサンベルトラインである南エジプト(2,860ha)で中国科学院と業務提携をして、「3年以内に100MW」を目標として発電事業を進めております。

<観光事業>

日本は、自然の豊かさ(四季)、治安の良さ、おもてなしの心、時間の正確さ等、世界有数の観光立国として海外から高い評価を受けています。現在、北海道大沼地区及び大分県九重町・湯布院における観光事業を進めております。

① 自然の豊かさで魅力的な北海道大沼地区で8haの大型ショッピングセンターと日本最大(40ha)の観光農園を2016年3月の北海道新幹線の新函館北斗駅開業に合わせてOPEN予定でございます。

② 大分県九重町・湯布院で日本最大級の温浴施設「ホットラグーン大分」を建設中で、2016年春にOPEN予定でございます。

両施設ともに、国内外のお客様に観光立国日本を満足して頂けるように神戸物産グループとしてより強化していきたいと考えております。

以上